



2002

自然エネルギーフォーラム

IN ハーベストの丘

報告書

自然エネルギーフォーラム実行委員会
 柴田 政明

実施日 2002年9月14日

場所 堺・緑のミュージアム ハーベストの丘

主催 自然エネルギーフォーラム実行委員会

協賛 第8回国際エネルギーフォーラム地元協力協議会

後援 大阪府、堺市、近畿経済産業局

協力 (株)荏原製作所、松下電器産業・松下精工(株)、カラーキネティクス・ジャパン(株)、(株)ケンコー、

NPO 法人エイ・アイ・アイ(AII)、(株)エイワット、ハーベストの丘

来場者数 3394名

みなさまのあたたかいご支援をいただきまして、「自然エネルギーフォーラム IN ハーベストの丘」を無事、終了することが出来ました。「自然エネルギーシンポジウム」、「ワークショップ」、「エコビレッジスタジオ」、「自然エネルギーコンサート」など、時間がない中ご協力いただいた、たくさんの方々のおかげで実りのある催しが開催できました。参加していただいた方は、お年寄りから、子供たちまで、幅広い方々が、シンポジウムを通じて、エネルギーの大切さ、ワークショップを体験していただいて、身近な自然エネルギーを実感していただきました。はじめてのこころみエコビレッジスタジオでは、やまだひささんの楽しいトークで、シンポジウムの講師の方々与会場の方々のコラボレーションがもてました。ファイナルの自然エネルギーコンサートでは、自転車発電+自然エネルギーの電源による超省エネLEDランプによる照明でコンサートを開催しました。夕暮れの空に響くギターを奏でてくれた谷本 光さん、やさしく包み込んでくれるような声で、最後のハーベスト会場を癒してくれた渡辺 智江さん、お二人の出演で本当に気持ちのよいコンサートになりました。

8TH INTERNATIONAL ENERGY FORUM (IEF)
 国際エネルギーフォーラムイベント
 自然エネルギーフォーラム in ハーベストの丘

報告書内容

- 自然エネルギーシンポジウム
- ワークショップ
- エコビレッジスタジオ
- 自然エネルギーコンサート
- お客様の興味対象と動向反応
- 補足解説と写真



自然エネルギーシンポジウム

(開催場所 セレモニーハウス / 開催時間 10:00 ~ 12:20)

NEDO 関西・堺市共催 参加者約 100 名



世界・日本のエネルギー事情と自然エネルギーの重要性

立命館大学 教授 和田 武 (40分)

地球環境問題の現状を報告していただき、氷河の様子や砂漠化の現象、化石エネルギーの枯渇、ヨーロッパの自然エネルギーの急速な取組み事例を紹介していただきました。今後私達が取組むべき課題を明確に提示していただき、自然エネルギーの重要性を話していただきました。

次世代の若者たちに自然エネルギーをどう伝えていくか？

特定非営利活動法人エコロジーオンライン 代表 上网 裕 (20分)

様々な環境に関する情報を IT を通じて発信されている立場から、また、音楽業界におられた経験から、地球環境問題をどう若者たちに伝えていけば良いのか、自然エネルギーを推進するアーティストの方々達の取組みなどのお話をして頂きました。そして、現在の取組み、若者達と地球環境をどう保全していくかなどのお話を伝えてくれました。



自然エネルギーの実演とワークショップ指導について

株式会社日本総合研究所 研究事業本部 酒井 正治 (20分)

まちづくり、地域のエネルギービジョンづくりなどの経験から、行政、企業、学校、市民などが、どう自然エネルギーを導入していけば良いのか、自然エネルギーを広める方法、自然エネルギー学校の事例、ワークショップの大切さなどを紹介していただきました。



新エネルギー導入支援事業の説明

新エネルギー・産業技術開発機構 新エネルギー導入促進部長

上林 匡 (20分)

国の政策として自然エネルギー利用を普及させていく為の補助、取り組み等わかりやすくご講演頂きました。



自然エネルギー・新エネルギーのパネルディスカッション

(40分)司会 東京 FM D.J.やまだひさし

パネラー 和田 武、上岡 裕、酒井 正治、上林 匡

やまだひさしさんを中心に素朴な疑問・要望を各講演をしていただいた講師の方々に投げかけました。一般の市民の方々にもわかりやすく自然エネルギーに触れるディスカッションになりました。

エコビレッジ・スタジオ Eco village studio part.1

(開催場所 芝生広場 / 開催時間 13:00 ~ 14:00)



DJやまだひさしさんがラジオのDJブースに見立てた、芝生広場のステージにおいて自然エネルギーシンポジウムの様子やワークショップの内容などを発信しました。ゲストとして上岡 裕さん、酒井 正治さんに登場してもらい、主に上岡さんには自然エネルギーの実情、利用方法をまた酒井さんには自然エネルギーフォーラム内で行うワークショップを通じて自然エネルギーについてインタビュー形式で一般のお客さんに放送しました。

ワークショップ

(場所 芝生広場・食のホールテラス・小川のエリア / 開催時間 13:30 ~ 17:30)



人のブース

(開催場所 芝生広場 / 開催時間 13:30 ~ 17:30)

参加者数 約 60 ~ 70 名

芝生広場・ステージ上の発電型自転車をこぎ、発電した電力をコンサートの照明のためにバッテリーへ充電をしておきました。風車と太陽光を取り付けた電源車を利用しコンサートに使用するエネルギーの一部を自然エネルギーでまかなうことも行いました。

GLAY ファンの女性と男の子がコンサートのために自転車発電！

8TH INTERNATIONAL ENERGY FORUM (IEF)
 国際エネルギーフォーラムイベント
 自然エネルギーフォーラム in ハーベストの丘



ソーラー噴水



太陽の力で水が勢よく飛ぶ



ソーラーカーレース三連覇



ソーラーカーを作る目は子供もお父
 さんも真剣！

光のブース

(場所 食のホールテラス / 開催時間 13:30 ~ 17:30)

参加者数 約 70 名

シンボルとして、太陽光パネルを使った噴水の展示、水飛ばしゲーム (的あて)、ソーラーカーキットの組立体験などを通じて、光のエネルギーを体感してもらいました。親子でソーラーカーを組立てたり、子供たちが水を飛ばしたりして自然エネルギーを身近に感じて楽しんでいました。ソーラーカーレース三連覇の堺市立工業高等学校科学部協力によるソーラーカーの展示もありました。



とてもきれいな色使い



バターミルクペイントおいしいかな



風がないので走ってみよう



風のブース

(場所 食のホールテラス / 開催時間 13:30 ~ 17:30)

参加者数 約 60 ~ 70 名

シンボルとして、風力発電機の展示、ワークショップには、木製の風車キットを準備し、子供たちが環境にやさしいバターミルクペイントで自由に色を塗り、発電機などを組立てたあと、風がなかったのもので、その風車を持って走り、発電することをLEDの点灯などで確かめていました。



水のブース

(場所 小川のエリア / 開催時間 13:30 ~ 17:30)

参加者数 約 80 ~ 90 名

ハーベストの丘内の川の流れが少ないので、簡単な堤防をつくり、少し水量を増やしてみました。そこで、水車をシンボルとして小水力で電気を起こして、LED街灯を点灯させました。ワークショップでは、木製の水車キットを組立て、実際に発電することをLEDの点灯で体験しました。大人の方々や子供たちも、実際に水で電気を作るのは初めてでびっくり！ブースを手伝ってくれたエコエンジェル(女子大生たち)も、子供たちに教えながら同じように楽しんでいました。



エコエンジェルと子供たちが、水車体験！

流れが少ないので発電するかな？

8TH INTERNATIONAL ENERGY FORUM (IEF)
国際エネルギーフォーラムイベント
自然エネルギーフォーラム in ハーベストの丘



エイワット・自然エネルギートラック



ナチュラルグラデーション



谷本 光さんの夕空に響くギター



エコビレッジ・スタジオ Eco village studio part.2

(開催場所 芝生広場 / 開催時間 16:30 ~ 17:30)

やまだひささんが中心となり、上岡さん、酒井さん、自然エネルギーフォーラム実行委員会 代表 出水さん、堺市立工業高等学校科学部の学生をゲストにワークショップの雰囲気やこれから一般の方々にどうやって自然エネルギーを普及させていくべきか、自然エネルギーフォーラムを通じて感じたことなどを発信しました。

自然エネルギーコンサート

(開催場所 芝生広場 / 開催時間 17:45 ~ 18:45)

参加者数 数 150 ~ 200 名

ファイナルコンサートは、㈱エイワットによる自然エネルギー・デモンストレーション・トラックの太陽光発電&風力発電により蓄電した電気、ワークショップで自転車をこいで発電した電気、LED 照明を点灯しました。カラーキネティクス・ジャパン社からの協力で、コンピューター制御された LED 照明を自然エネルギーで賄うという世界で初めて試みのコンサートでした。谷本 光さんのギターの音、地平線に沈む太陽がほんのりあかした空の色、ナチュラルグラデーションの LED 照明が合わさってすばらしい雰囲気を作り出すことができました。太陽が沈みあたりも暗くなり、LED 照明がより一層映えてきたころ、渡辺智江さんのコンサートが開催されました。自然あふれる心地よい環境の中で癒される雰囲気をかもし出し、参加者皆さんに一時の安らぎの空間が提供できました。



渡辺智江さんのやさしい声がハーベストの丘に安らぎの空間を与えてくれました



コンサートが終わって夜のハーベストを散策

コンサートが終わったあと、会場が静まり、ほのかな明かりが残りました。食のホールテラス・風のブースの風力発電で起こされた電気で点灯する街灯はとてもきれいでした。最後の散策で、小川のエリアに行きますと、水のブースの水車が静かに回ってました。エイワットの方が、小さな堰をあげると力強く水車が回り始めて、街灯がより明るく点灯しました。DJ のやまだひさしさん、アーティストの谷本 光さんも、一緒に散策に参加されて、小水力発電の街灯にびっくりされていました。風、光、水、人のワークショップを手伝ってくれていたエコエンジェル(女子大生)たちも楽しく散策に参加していました。自然のエネルギーでこれだけ出来るんだねと再確認した最後の散策でした。



風車の街灯が点灯



小さな堰が開けられ小水力発電が稼働、街灯が点灯！



アーティストの谷本 光さんもギターを担いで見学



DJ のやまだひさしさんも小水力街灯にびっくり



イベント最後のなごやかなひと時



FINAL CONCERT

イベントを終えて

国際エネルギーフォーラムのプレイベントと言うことで、自然エネルギーシンポジウムでは、世界のエネルギー、日本のエネルギーの現状、世界、日本の自然エネルギーの取組みを、一般の方々、若い方々に知っていただきました。それから、様々な自然エネルギーを推進する取組み、アーティストの方々の取組みなども紹介されました。自治体での導入方法、市民で、学校で、子供たちでどう取組めば良いのかなども、ワークショップなどで体験してもらいました。エコビレッジスタジオでは、環境、自然エネルギーを難しく話すのではなく、みんなでコラボレーションして、一人一人が今感じることを、それぞれの方が答えをだすと言うのが、良かったと思います。最後のコンサートは、子供たちが作り出したエネルギーと自然エネルギーできれいな LED 照明を点灯させた意味のあるコンサートでした。

自然エネルギーを、一般の方々や子供たちが、自分たちで簡単に取組める、創れるということ、体感してもらったことが一番の成果だと思います。

今回の自然エネルギーフォーラム IN ハーベストは、時間がないにも関わらず、本当にたくさんの方々のおかげで開催することができました。そして、無事終了することが出来ました。みなさん、本当にありがとうございました。

国際エネルギーフォーラム <http://www.pref.osaka.jp/osaka-pref/kokusai/energy/index2.htm>

ハーベストの丘 <http://www.farm.or.jp/menu.htm>